

健康テラス

がんばれ! にっぽん! コロナに負けるな!!

いんとうがん 咽頭癌

これまで一般的には「耳鼻咽喉科」という名称で呼ばれておりましたが令和3年5月12日より「日本耳鼻咽喉科学会」は「日本耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会」に名称を変更することとなりました。これまでと診療内容は変わりませんが頭頸部の腫瘍性病変に対する診療を行っていることを分かりやすくするための変更です。耳鼻科の診療は「みみ、はな、のど」の一般診療と口腔、咽頭、喉頭、鼻副鼻腔の腫瘍性病変も診療を行っています。手術療法、化学療法、放射線療法などです。また近年増加傾向にあるのが高齢者の嚥下障害ですが、他職種のメンバーと協力して対応しています。

さて、今回は「咽頭癌」というテーマですが、咽頭とは鼻腔、口腔に続き、下方は喉頭、食道に至る管腔で、気道や消化管の一部を構成しています。上・中・下の3部位に分けられますがそれぞれの部位に腫瘍性病変が出現すると「鼻閉、せき、呼吸障害、嚥下障害、疼痛」等々が出現します。時

には「耳閉感、難聴」などが出現することがありますので注意が必要です。内視鏡やMRIなどの検査を行い病理検査で診断が確定します。部位的に手術は困難なケースがありますので、早期診断のため心配な方は早めに耳鼻科を受診して下さい。



宮崎耳鼻咽喉科医院
宮崎 充 先生



関節リウマチとは?

関節の腫れや痛みを起こし、その後変形をきたす病気です。主に手足の関節で起こりますが内臓を侵すこともあります。

この病気の患者さんはどんな人に起こりやすいのですか?

30歳代から50歳代で発病する人が多く、男性より女性に約4倍多く認められます。

この病気の原因はわかっているのですか?

原因は完全に明らかにされてはいませんが、免疫系に異常があることが知られています。「免疫」とは細菌やウイルスなどの外敵から体を守るしくみで、この異常により、自身の細胞や組織を攻撃してしまいます。免疫細胞が産生するサイトカインと呼ばれる物質の作用により関節内に炎症反応がひきおこされ、痛みや腫れを起こし、軟骨・骨の破壊が進みます。

この病気はどのような症状がおこりますか?

手指(指の付け根、指先から二番目)、足趾、手首の関節の痛みと腫れが徐々に起こり、肘や膝にも症状がみられます。体や関節周囲のこわばりを、朝、起きたときに強く感じるので「朝のこわばり」とよばれます。また全身症状として、疲れやすさ、脱力感、体重減少、食欲低下がみられます。

この病気の診断にはどのような検査が必要ですか?

血液検査、手のX線写真があり、MRIや関節超音波検査では、より早期の変化を検出することができます。

この病気にはどのような治療法がありますか?

最近治療薬の進歩により進行を抑えることが可能となりました。そのため、なるべく早い時期に診断して、治療を始めることが重要です。関節リウマチではないかと思ったら、早めにリウマチ専門医の診察を受けることをおすすめします。ご心配の方は当院専門外来(毎週月・火曜午後:要予約)まで気軽にご相談下さい。



井川内科医院
井川 長年 先生
井川 敬 先生



▲井川 長年 先生